

みさき

30号

美咲町議会だより



主な内容

住民からの熱い意見がぞくぞく

第1回美咲町議会報告会

2～3

住民の意見を町政に問う

議員15人が一般質問

8～22

連載企画 どうなった??あの質問

23

みんなの想いを乗せて走るラッピング列車 (JR 津山線)

2012年11月10日発行

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

報告会を開催

平成24年8月21日～24日

議長めぐろし



美咲町議会 議長
三船 勝之

美咲町議会基本条
例に基づき、第一回
美咲町議会報告会を
町内5会場で開催い
たしました。

初の試みで心配な
面もありましたが、
各会場とも活発なご
意見とともに議会に
対する温かい励まし
を賜り、心より厚く
お礼申し上げます。

紙面の都合で全部
は掲載できません
が、皆さまからいた
だいた主なご意見、

ご要望とそれに対す
る回答を紹介しまし
ます。

我々議会としても
有意義な議会報告会
であったと感じてお
ります。

今後とも年一回以上
の報告会を開催し、
町民皆様のご意見を
いただきながら、美
咲町に住んで良かつ
たと実感できる町づ
くり邁進してまい
りますのでご協力を
お願い申し上げます。

議会報告会の 「ご意見Q&A」

議員の報酬はい くらか。町民に奉 仕する議員に賞与は必 要ない。

議会・委員会の開催
日数、各議員の出欠状
況を議会だよりで報告
を。

議員報酬は一般
議員で月24万円。

賞与は報酬という形
で、美咲町議会だけ
なく、県議や国会議員
にも出ていますが、ご
意見として承ってお
きます。

また、美咲町では文
書交通費や政務調査費

は一切支給されてお
りません。

議会関係の費用明
細、議員の活動内容を
11月の議会広報で毎年
掲載しております。

議事が視察・研
修を行った後、町
の政策として反映され
たものは。

視察した新エネルギ
ー政策をどう具体化さ
せるのか。

協働のまちづく
りの視察で組織作
りを研修し現在に役立
っています。またスポ
ーツの専門家が介護予

70歳以上の人間
ドック受診の補助
金は出せないか。

セット検診、集
団検診は無料で行
っています。委員会
で検討させていただきます。

防を行う事業を視察
し、秋からモデル地区
で実践します。

新エネルギーは県へ
太陽光発電施設の、美
咲町誘致を要望してい
ます。

一問一答方式で
は議案の焦点がぼ
やけるのではないか。

美咲では一般質
問と議案質問はは
つきり分けて行ってい
るので、その点は心配
ないと思っています。

起債が減少して
基金が増えた要因
は何か。

起債の繰り上げ
償還を行い、財政
健全化に取り組みまし
た。

また、毎年財政調整
基金を積み立て、合併
特例交付金を利用して



(旭町民センター)

美咲町議会

元気な町づくり基金などを積んだ結果だと思っています。

Q ニュージージャーンドとの交流は続けるべきだ。

A 基金を作ってホームステイを継続します。

Q 総合型地域スポーツクラブの今後に対する町の考えは。健康増進・介護予防・予防医療に対する町の方針は。

A スポーツクラブの方向性として、町は最終的には自立してほしいとの思いです。今回美咲町でも専門家による健康教室を開き、サロン活動につなげていきたいと思えます。

Q 各種団体の活動に、町有バスの貸し出しはできないか。

A これからの大きな課題だと思えます。総務委員会で審議して町政へ意見を伝えます。

Q 各議員の議案に対する行動を議会に

だよりで公表するのかわ。本会議場で重要な案件に対する反対・賛成討論があった場合、各議員の投票をまとめて表記します。

Q 津山新クリーンセンターが稼働したら負担金は現状より安くなるのか。

A 三千万円程度減額され、年間約1億円になるのではと思います。

Q 簡易水道を上水道に変更する場合の利点と問題点は。

A 簡易水道の補助金が打ち切られ、上水道になっても、たちまち料金が上がるわけではありません。

Q 防災マップを作成するときは地域の声を生かすべき。

A 地域のことではない所もあります。各自治会に相談があると思います。

Q 議会が視察した大分県の「学びの21世紀塾」は教育政策



議会報告会の様子

にどう反映されたのか。

A 副町長、教育長も視察して、執行部とも情報の共有が出来ました。みさきネットを使つてのテレビ講座から行つてほしいと考えています。

Q 美咲町振興計画を策定する場合は従前の計画を検証する必要がある。

A 新しい振興計画策定時に、議会に提案のあった部分について検証していきます。

Q 旭みち停の建設場所は適当と思えない。

A 当初はJAあさひ支所が候補地であったが、地元の反対により現在地となつて

います。また現在計画的に来客数を増やす努力をしています。

Q 消防団女性部機関は本場に必要か。なぜ福祉ゾーンに建設したのか。

A 本は後方支援活動であり、住民を守っている女性消防団員の活動拠点として承認しました。

Q 富田基金の使い道はこれでよいのか。

A 基金の有効な使い道を検討する審議会で、今回は各図書館に富田文庫として名前を残す趣旨で予算が組まれています。

Q 議員定数を減らすことばかり考えるのではなく、議会内で議論の活発化を。

A ご意見として賜つておきます。

Q 議会報告会のあり方については考慮が必要。PTA、消防団などの各種団体を単位としたものも考えるべき。

A 今回、広報紙や告知放送、各自治会長さんにご案内を出しましたが、閲覧方法とか明確にしていませんでした。今後の検討とさせていただきます。

□議会報告会でいただきましたご意見、ご要望につきましては、議会として執行部に伝え、速やかな対応を要請しました。

議会としても、今後の町行政にどのような取り扱われるか委員会や一般質問などで執行部と議論して行きます。

9月定例会の報告

9月12日から
9月28日まで

定例会が招集され、24年度一般会計など補正予算26件、条例6件、23年度決算、報告2件、陳情・要望4件などの議案が上程された。

補正予算

一般会計へ6億7250万円の増額を可決

一般会計歳入歳出に六億七千二百五十万円を増額し、総額を百十六億七千七百五十六万円とするもの。一般会計、25特別会計ともに全会一致で可決、承認。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆地方交付税
四億三千五百

五十万円

☆国庫支出金

二千百六十六万円

☆県支出金

千五百九万円

☆繰入金

△三億五千万円

☆繰越金

四億八千八百

七十万円

☆諸収入

三千二百六十五万円

【主な歳出】

★基金積立金

二億二千万円

★ふれあいセンター空調設備など事業費

三千百五万円

★林道改良など事業費

二千百九十八万円

★南和気荘体育館改修など事業費

千九百七十九万円

★道路新設改良費

四千八百五十一万円

★駐車場用地費など事業費

三千百五十六万円

★公債費

一億二千九十四万円

◎特別会計補正予算

◇みさきネット事業特別会計

★維持管理基金積立金

五千万円

※国民健康保険事業特別会計など24特別会計については、繰越金の確定などによる事業費の調整

条例の制定

条例の制定が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎美咲町国際交流基金条例

ニュージールランドとの国際交流を円滑・活発に推進するための条例を定め、基金三千万円を積み立てる。

◎美咲町史編さん基金条例

美咲町史の編さんを円滑に推進するための条例を定め、基金二千万円を積み立てる。

◎美咲町防災会議条例の一部を改正する条例

防災対策基本法の一部が改正されたことに伴い防災会議条例の一部を改正する。

陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

美咲町中央運動公園駐車場に関する要望

〔総務常任委員会付託〕
美咲町区長協議会

則吉洋介
中央運動公園は年間を通じて利用頻度が高く、町道や私有地への駐車に対して苦情が寄せられている。安全面の確保からも駐車場の整備が必要であり全会一致で採択とした。

上半期7割をめどとした工事の早期発注等についての要望

〔産業建設常任委員会付託〕
美咲町建設業協会

会長 赤本 裕
要望の内容については、町執行部において改善できる所は努力を続けているため全会一致で趣旨採択とした。

私学助成に関する陳情

〔民生教育常任委員会付託〕
岡山県私学助成をすすめる会

会長 小橋 操
私学においても既に相当な助成があり賛成少数で不採択とした。

高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援の要請

〔民生教育常任委員会付託〕
美咲町シルバー人材センター

会長 渋谷勝弘
現在の補助金を有効に活用して、センター内部における自助努力に期待し、全会一致で趣旨採択とした。

特別会計運用経費は 削減の努力を

総務常任委員会に付託を受けた予算・条例など19件について審議した結果、全議案を承認。要望は採択とする。

ただし、みさきネット事業とバス運行事業については運用経費削減の方法を検討すべきとの意見を付す。

■主な質疑応答

【総務課】

問 防災会議は町内の実情を踏まえ活発な議論を。女性委員の登用も。

答 大きな災害にも対応できるように防災計画の見直しを次年度行う。

【企画財政課】

問 中学生のニューゲーム参加者は。

答 27人から申し込みに有り、3年生を中心に12人が参加した。

【情報交通課】

問 みさきネットの運営経費は高額である。縮小の考えは。

答 インターネットへの加入促進が必要。

◇現地を確認

- 議案審議に関連して
- ☆中央運動公園テニスコート
- ☆中央運動公園駐車場候補地
- ☆消防団女性部機庫を視察



中央運動公園を確認

民生教育常任委員会報告

小学校改修の調査 設計に450万円

民生教育常任委員会に付託を受けた予算9件、陳情など2件について審議した結果、予算は承認、陳情は不採択、要請は趣旨採択とした。

【教育総務課】

問 小学校維持補修費の主なものは。

答 旭小学校の大規模改修に向けての調査・設計委託費三百万円。美咲中央小学校の特別支援教室増築に伴う設計委託費百五十万円など。

■主な質疑応答

【健康増進課】

問 ポリオの予防が不活化ワクチンに変わったのはなぜか。

答 二次感染予防のため、従来の生ワクチンから変わった。

【生涯学習課】

問 文化財保護費八百五十八万円の内容は。

答 旧打穴小学校の駐車場舗装工事

産業建設常任委員会報告

ゴミ分別に対する 意識改革は重要

費、錦織地内に、法然上人の母を顕彰する公園整備費など。

◇現地を確認

議案審議に関連して

- ☆旧打穴小学校校舎
- ☆中央運動公園テニスコート周辺
- ☆中央運動公園駐車場候補地
- を視察

産業建設常任委員会

に付託を受けた予算11件、要望1件について審議した結果、予算は承認、要望は趣旨採択とした。

【産業観光課】

問 「みち停あさひ」の周辺整備計画は。

答 既存の歩道を利便性向上、看板設置、鯉のぼりなどの計画を策定中。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 柵原地域のゴミ収集委託料増額の理由は何か。

- 議案審議に関連して
- ☆柵原クリーンセンター
- ☆藤原墓地公園
- ☆南和気荘体育館
- を視察

厳しさ変わらず 美咲町の財政

歳入127億7,311万円 (22年度比1.9%の減)

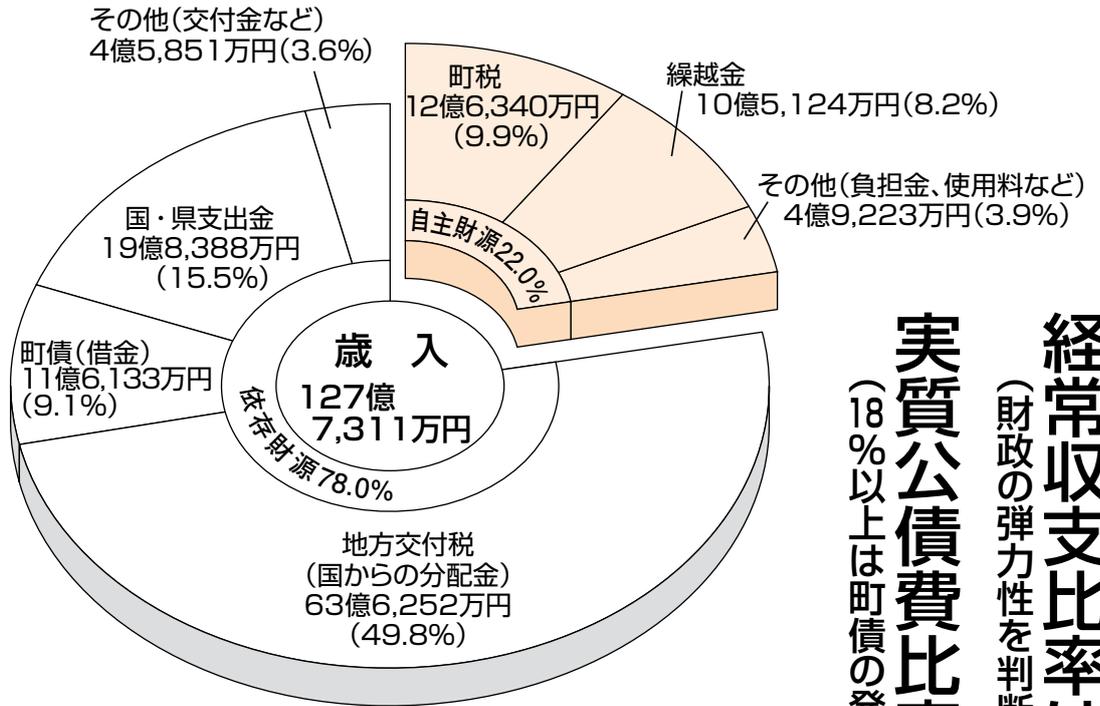
自主財源は約28億円 借金の返済に約25億円

23年度歳入歳出決算報告

一般会計決算

不納欠損額 421万円
 (死亡などにより集金が不可能になったもの)

収入未済額 1億5,028万円
 (集金が遅れているもの)

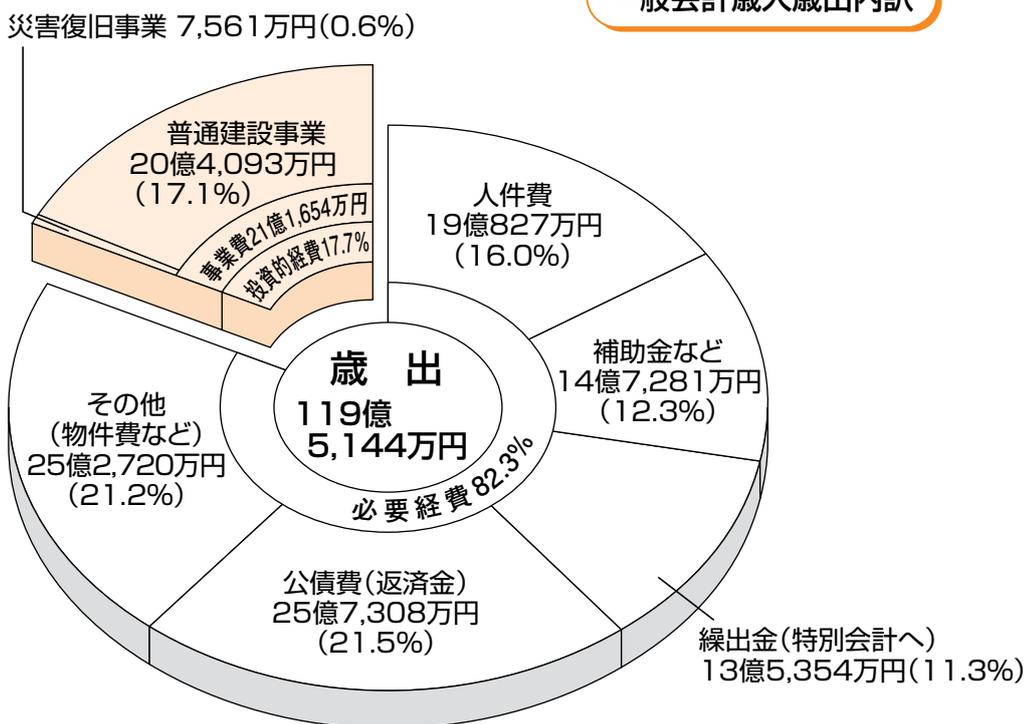


経常収支比率は84・8%
 (財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は18・3%
 (18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

と共に高い

一般会計歳入歳出内訳



一般会計の単年度収支は赤字決算

決算認定特別委員会報告

執行部から提出された決算事務報告書を基に平成23年度の事業内容、予算執行状況などを審査した。

一般会計と26特別会計の概要は図表のとおりである。

財政全般の節減合理化などにより一般会計の実質収支は七億九千万円の黒字だが、単年度収支は八千八百万円の赤字決算となった。

委員会の指摘事項は、

- ◇ 行政組織の機構改革による事業の効率化
- ◇ 町税などの徴収率向上
- ◇ 予算要求時の徹底した査定
- ◇ 地域福祉、医療体制の拡充
- ◇ 予備費の流用は不測の事態に限るべき
- ◇ 特別会計に対する一般会計繰入金金の減少
- ◇ 下水道接続率の向上
- ◇ 上水道有収水率の向上

◇ みさきネット加入率の向上

◇ 農業振興策の事業効果向上

◇ 本庁と総合支所の連携強化

◇ 小・中学校一貫教育の成果拡大

◇ 指定管理の円滑な推進などである。

地方債残高は百六十九億円に減少、充当可能基金残高は五十四億五千万円に増加。早期健全化比率は基準内であり、経常収支比率も改善されつつあるが、これらは合併特例法の財源措置によるところが大きい。

今後の財政運営はより厳しさを増し、単年度決算は赤字決算が続くことが予測される。

自主財源の確保、経費節減に努めながら計画性のある町政運営を求め23年度決算を全会一致で承認した。

23年度 26特別会計決算の内訳

	特別会計内訳	歳入額	歳出額	歳入決算総額	歳出決算総額
貸付事業	住宅新築資金等貸付事業	1,445万円	4,356万円		
バス運行事業	津山・柵原線共同バス運行事業	1,482万円	1,482万円		
	津山・西川線共同バス運行事業	1,621万円	1,548万円		
	旭川ダム沿線バス運行事業	3,391万円	3,364万円		
保険事業	国民健康保険事業	19億3,972万円	18億9,837万円		
	介護保険事業	19億8,494万円	19億9,023万円		
	介護サービス事業	1,054万円	1,054万円		
	久米郡介護認定審査事業	948万円	947万円		
	国民健康保険診療所事業	661万円	638万円		
	久米郡障害程度区分認定審査事業	108万円	107万円		
	後期高齢者医療	1億9,813万円	1億9,641万円		
水道事業	柵原飯岡簡易水道事業	3,299万円	2,741万円		
	柵原北部簡易水道事業	1億6,641万円	1億5,952万円		
	柵原中央簡易水道事業	7,052万円	5,932万円		
	統合簡易水道事業	1億9,026万円	1億8,570万円		
	中央簡易水道事業	1億9,457万円	1億8,994万円		
	中央北部簡易水道事業	3,719万円	3,149万円		
	中央打穴・大埴和簡易水道事業	8,642万円	7,931万円		
	下水道事業	1億4,167万円	1億3,157万円		
その他	柵原公共下水道事業	2億9,603万円	2億5,946万円		
	中央公共下水道事業	5億1,662万円	5億140万円		
	みさきネット事業	2億8,457万円	2億7,833万円		
	三休公園事業	1,038万円	1,038万円		
	土地開発事業	1,662万円	1,595万円		
	用地取得造成事業	3,018万円	190万円		
	倭文西財産区	25万円	0万円		

問 答

一 般 質 問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

国際交流の成果と 今後の展望は

姉妹都市縁組を 締結したい

答 弁



草苺良明 議員

問

第二次テムズ調
査団の報告では、

テムズ町の人々の好感度はかなり高いということであった。また、中学生のホームステイも良い感触であったと聞く。1度だけの交流でなく、職員の交換研修も含め、事業を継続するべきと思うが。

答

遠藤企画財政課長
第二次テムズ調

査団は、7月27日から7日間の視察で、オーランド市内の高校、大学、役場庁舎、鋳物

金条例を設けて進めていく。

元気な ラジオ体操の 普及を促進せよ

問

8月1日に中央
運動公園で実施し

た朝のラジオ体操は1200人が参加して盛況の内に終了し非常に良かった。この日を記念日として健康増進の事業ができないか。

事前に放送された朝のラジオ体操も好評であった。

答

定本町長
友好協定は結ん

でいる。姉妹都市縁組も近いうちに結ぶことになる。

職員の交換研修は難しいが、姉妹都市縁組締結後に検討したい。

今後の中学生によるホームステイについては、美咲町国際交流基

「音楽を聞くだけで元気になる」「朝の炊事の手を休めて体操ができた」「寝間の中で手足を動かしている」などの声もあった。是非、朝の放送を続けてほしい。

また、健康管理・健康増進のため、道具が不要で手軽にできるラジオ体操を普及させてほしい。

答

村島健康増進課長
ラジオ体操事業

調査研究によると、ラジオ体操は自らの体重を使って大きな筋肉を強化し、各種神経を刺激する体操である。

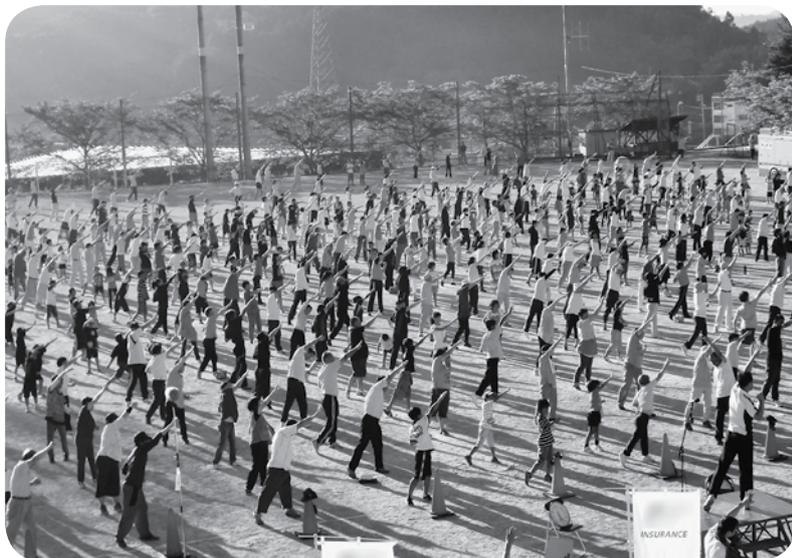
血液循環を促進するなど、さまざまな効果があり、継続的に行えば活動能力の低下予防と、人との交流を通じて生活の質の向上に有効だと結果が出ている。

答

定本町長
8月1日を記念

日として、各地域で行事ができるような環境を整えたいと考えている。

朝の放送については賛否両論がある。検討課題としていく。



全国のみなさん おはようございます (1,200人のラジオ体操風景) (中央運動公園)

質問

不祥事の原因解明と
防止策は

情報共有で
再発防止に努める

答弁



角南憲一 議員

問 防止に取り組みたい。また、別の案件で警察から書類の提出を求められたり、職員に聞き取り調査が行われるなど状況が明かされないが罪状は何か。

答 定本町長

警察が捜査しているのは事実だが、捜査のため、罪状などについて明らかにされていない。現時点で、事件について行政側が調査することはできない。

問 職場の中で定期的な配置転換・異動をさせているが、人事制度の中で処遇などに問題はないか。

また、どのような職場体制を築いているか。

答 岡部副町長

いろいろな場所を経験する意味で、3年程度同じ職場に配置するのが原則だが、業務の特殊性などを考慮しながら異動を行って



考えてみよう 引き出しのない仕事場を

いる。

最近導入した「朝メ

ール・夕メール」は全職員が時間ごと何をするかを朝メールに入れることで、互いの状況が把握できる。これにより、資質能力の向上と組織の活性化へつなげていきたい。

問 IT化された情報、D・V・D・F

D・C・Dなどに入れて誰でも簡単に持ち運ぶ

ことができる。

また、瞬時に移動でき

る特性があるが、機密は守られているか。

答 鈴鹿情報交通課長

必要な情報を申請し、許可したものについて運用できる体制をとっているので漏洩はない。

問 不祥事の中に

は、机の中に現金があったり、重要な書類が書類の中に埋もれ

ていたなど、机が起因するものがある。事務所の机を廃止して、テーブルにしてはどうか。

答 定本町長

初めて聞いたので、即答は控えたい。

次期も

町政を担当する

考えは

問 4年間の総括と次期町政をどう考えるか。

答 定本町長

11月半ばをめどに町政懇談会を予定している。皆様からのご指示・ご支援がいただければ引き続き町政を担当したいと考えている。

問 年金生活者の窮乏をしっかりと把握し、弱者に優しい政治を強く望む。

答 定本町長

町民の皆さんが健康に生活できる体制を考えていきたい。

答 定本町長

不祥事に対して先例どおりの処分をするというだけでなく、原因の解明とそれに基づく防止策は。

工事代金未払い問題が発生し、町民の皆様にご不信感を与えてしまったことに対し、深く反省している。

マニュアルどおりに業務を進めていなかったことに加えて、情報を共有していなかったことが起因していた。職員間で徹底し、再発

質問

学力の危機的状況に
対策が必要

早急に対応策を
検討する

答弁



日神山定茂 議員

問

2012年全国学力テストで、岡山県の全国順位は、小学校6年生が45位、中学校3年生が42位であった。

美咲町の結果はどうか。また、結果についてどう考えるか。

答

泉教育長 本町の状況も岡山県と同様全国レベルにおよばない。

答

定本町長 本町の子どもの成績の成績向上に向けて、認識を新たにしました。

問

月1回開催の教育委員の会議で、美咲町の学力について、どのように議論されているか。

危機的な状況である。定例会とは別に、解決に向けて話し合っているか。

答

泉教育長 指摘のとおり生活の基本的習慣、わかる授業、家庭学習など、緊急に新たな対策を考えたい。

答

定本町長 教育長から報告は受けているが、相談と対応までできていない。自分で生きていく力を持った子どもたちを育てていきたい。

中学生議会の
開催を

問

中学生にも自分の町の課題や問題点、中学生の目から見た美咲町について議論する場があっても良いのでは。

若い人にも議会や行政に目を向けてもらうため、青年議会にも取り組んではどうか。

答

定本町長 行政・議会に目を向けてもらうのは大切だ。議論を通して、次の世代を担う人材を育てていきたい。

答

泉教育長 町を背負う健全な社会人として、政治に関心をもち、身近な問題を議論することは

大変有意義である。真剣に検討する。

旭川ダム60周年
記念事業は

問

町外・県外から釣り人も多く来られ、トイレ・駐車場も整備している。釣り場など、ダム湖の観光利用は考えられないか。旭川ダム完成60周年

答

定本町長 を迎えるが、県と協力して記念事業はできないか。

ダム湖の活用など、積極的に提案していただき、何か有効な利用法を考えたい。60周年事業については、まだ県から話がない。本町で何か考えた



あれから早くも60年(旭川ダム第一堰堤)
(出典:岡山県ホームページ)

質問
美咲町振興計画の
進捗状況は

目標達成には
至っていない
答弁



貝阿彌幸善 議員

問 町振興計画、基本計画取り組み活動の推進で、通信簿30があるが、調査状況と最終年度の進捗状況は。

答 遠藤企画財政課長 振興計画の検証は行っていないが、町教育振興基本計画が制定され、地域に対する様々な角度からの満足度など、10の項目で調査している。平成20年時点の目標達成指数には至っていない。

その他の調査項目も含め、12月末までには

調査し、結果をお知らせする。

相互交流の成果は

問 多面的な交流の推進で、合併後の相互交流の促進や一体的な取り組みの展開は。

答 遠藤企画財政課長 地域内の交流イベント開催は、旭地域のさくらまつり、中央地域の夏祭り、柵原地域のぼっぼまつりの開催で交流を図っている。国際交流は、テムズ町へのホームステイの実施、ALT（外国語指導助手）による保育園、小学校などでの英語教育の充実により推進する。

また、フェイスブックを取り入れることを検討中である。



どんどん広がる地域の交流（たまごまつり）

答 定本町長 告知放送、広報紙、ケーブルテレビ、みさきネットで町民に正確な情報を発信している。

答 村島健康増進課長 初期救急医療は、久米郡医師会に委託し、在宅当番医制度で休日の診療に対応している。二次救急は、津山英田保健医療圏域で、病院群輪番制を整えている。

また、5月から電話による24時間健康相談も実施している。

答 鈴木情報交通課長 通院手段の確保は、福祉巡回バスの運行により旭地域10路線、中央地域10路線、柵原地域16路線運行で対応。

公共施設の
バランスは

問 計画的な住環境の整備充実の部分で、3地域のバランスに配慮した公共施設の配置、跡地利用をどう考えるか。

答 定本町長 3地域をバランスよく発展させるためには、それぞれの地域に公共施設が重複しても、いたしかたないと考える。

また、公共施設の跡地利用については、柵原総合支所跡地を柵原西保育園に、厚生小学校跡地は、白寿荘に活用している。民間企業からの利用の申し出もきている。

医療体制の
充実

問 地域バランスのとれた医療確保の促進、在宅当番医制度、

質問

下水道加入の促進強化策は 接続に向けた啓発活動を継続

答弁



岩野正則 議員

問 下水道工事の進捗状況と接続状況は。具体的な加入推進対策は。

答 赤堀上下水道環境課長
中央地域は平成25年度完成で接続率は64%。柵原地域は28年度完成予定で、完成している吉ヶ原は接続率50%である。

農業集落排水の接続率は飯岡地区86%、吉岡地区62%である。

加入推進対策として、2月の広報みさきで早期接続の啓発を実施した。

問 中央地域は完成してから6年以上経過するところでも現状では64・5%と接続率が伸びない。新たな施策が必要ではないか。

答 定本町長
古い家屋の接続が遅れている。工事の利子補給も検討課題だが、何百万円もかかる工事なので厳しい状況だ。

問 問題点は、接続が少なければ将来の維持管理、料金体系に影響してくる。接続率、加入を増やせば町内の建築業者、下水道業者に工事が発注される。前向きな取り組みを。

答 定本町長
接続する家主に啓発を繰り返し実施していく。

分譲宅地 完売させる 自信は

問 新たに造成・販売するうたのしも団地の販売計画内容は。遠藤企画財政課長

答 団地の設計は現在進行中で12月には完了する。平成25年度に

12から14区画の造成を予定。
販売は平成26年1月から4月以降になる。

問 造成地なので工事が安く出来るのではないか。新たな分譲地の売見込みは。売れ残っている分譲地の販売努力を。

答 定本町長
中央地域に人が集まっており完売の自信はある。売れ残りの分譲地の極端な価格の見直しは難しい。

空き家の管理は適正か

問 町内の空き家状況は。これからの取り組みについて具体的な説明を。

答 遠藤企画財政課長
町内の空き家は中央地域52戸、旭地域88戸、柵原地域178戸の合計318戸。

町民から管理出来ない空き家の情報提供を受けて調査を実施

し、管理不全の状態のときは所有者に対して町から助言、指導を行う。

問 空き家に加えて空き店舗、工場跡地の調査もできないか。空き店舗を若い人にビジネスチャンスと

指導に従わないときは住所・氏名を公表する。

答 定本町長
中国銀行跡地に設置する活性化センターに担当者をおいて、再度空き家の現況調査を実施する。

空き店舗、工場跡地の活用は久米南町・真庭市勝山の例も研究したい。



空き家の管理は誰がする？

質問

美咲町流グルメの

開発は

新商品の開発に

力を入れている

答弁



山本宏治 議員

問

美咲町流グルメとしての新商品開発状況は。また、ジェラートの開発が進んでいると聞かすが、どのようなものか。

合併10周年記念行事として、町内グルメツアーで町おこしはできないか。

答

矢木産業観光課長 「食堂かめつち。」では、美咲どり、卵、棚田米で「美咲・

どん」を販売している。

米粉のやわらかい煎餅であんこをはさんだ

「美咲どらせん」を9月から商品化した。

ほかにも米粉を利用したアイスクリームの一種である「ジェラート」の商品開発も進めている。

合併10周年に向け、旅行会社にもPRしていきたい。

答

定本町長

特産品開発は難しいが、いろいろな取り組みを考えていきたい。皆さんのアイデアに期待している。

中央運動公園

テニスコートの

周辺整備を

問

テニスコート周辺の管理道路が木の根が浮き上がり、傷

答

山下生涯学習課長

浮き上がりが激しい箇所については、

んでいるが管理をどのように考えているのか。また、テニスコートの照明器具のカード入れに不具合が生じている。早急に対応すべきである。

照明器具操作盤は、新しいものと交換する。

歩行中の転倒などの事故も懸念される。安易に木の根を傷つけると倒木につながる恐れがある。樹木医と相談の上対応する。



続々と登場する新しいグルメに期待!! (美咲どらせん)

美咲町

エネルギー

ビジョンの

対応は

問

太陽光を利用したメガソーラー発電、小水力発電の誘致やエネルギービジョンへの今後の対応は。

答

赤堀上下水道環境課長

スマートコミュニティ構想普及支援事業を予定している。国の補助事業採択が決定したら、具体的に作業を進めたい。

本町にもメガソーラー誘致事業の候補地が3カ所ある。数社から問い合わせがあるが、正式決定には至っていない。

答

鳥越税務課長

売電の所得は課税対象となる。設備の減価償却も関係があり、個別に相談に応じたい。

質問

学校施設の早急な整備を望む

急を要するものから

順次取り組む

答弁



江原耕司 議員

問

中央中学校新築工事が終了したが、プールの建設が遅れているため今年はプールが使用できなかつた。来年は水泳ができるように約束できないか。

また、加美小学校内の施設改修と安全な通学路の整備を早急に行うべきである。

答

泉教育長

プールについては、建設場所の問題があるが、新設する方向で考えている。可能な



早急な施設整備が望まれる 加美小学校

限り早急な建設を進めたい。

加美小学校の補修箇所については、実態を調査し、緊急を要するものから順次、改修などを進めていく。

答

定本町長

子どもの安全に支障がないよう取り組

町道瓜畝線の通学路については、現在の工事が完了後に検討する。

問

電話相談事業として、二百七十万

電話相談事業

その後の

利用状況は

円の予算が生まれ5月から開始されたが現在の利用状況はどうか。

答

村島健康増進課長

24時間健康相談事業は7月末までで107件利用された。「気になる体の症状に関する相談」31件。「治療に関する相談」29件。「精神的な相談」15件。「家庭看護に関すること」12件。「育児に関すること」9件など。

診療科については、内科28件、小児科17件、産婦人科関係12件、心療内科10件、耳鼻咽喉科、皮膚科、外科、整形外科が各6件、精神科に関する5件など。

電話がかかった時間帯は、夕方5時から午前8時までが全体の46・8%を占め、時間外受診の抑制にもつながっていると考えられる。

今後、PR、健康不安解消に努めたい。

保育園増設と

町民センター

建設を

問

かめつこ保育園は、230人以上の園児を預かり、なお待機児童もいると聞く。保育園の増設が必要ではないか。

答

定本町長

財政的な問題もあるが、必要と判断すれば検討する。

問

美咲町の中心にある中央地域のみ町民センターがない。町民センターの建設について町長はどう考えているのか。

答

定本町長

現在、林業センターが町民センターの役目を果たしているが手狭な場合もある。今の段階で答弁は控えたい。

質問 教育のまち美咲町 の実現を みさきテレビで 教育番組を計画する

答弁



松島 啓 議員

問

本年4月に行われた全国学力テストの町内小・中学校の結果はどうか。また、今後の対策は。

昨年、議会の行政視察で、大分県豊後高田市の教育施策『学びの21世紀塾』などで、学力を飛躍的に向上させた取り組みを学んだ。本町としても、テレビ寺子屋などケーブルテレビを使った講座は、学校と連携してできるのではないか。

また、本年に福武教育文化振興財団の事業で、副町長と教育長が、豊後高田市を視察しているが、感じたことおよび本町の今後の教育にどのよう生かすべきと考えているか。

答

泉教育長

学力テストの結果は、本町全体では小・中学校ともに全国平均よりやや低い。結果をしっかりと分析して、学力向上の対策を講じる。

また、豊後高田市の取組みを参考にして、みさきテレビで、各教科のポイント学習など放送していきたい。

答

岡部副町長

豊後高田市の視察で感じたのは、『学びの21世紀塾』を機軸にした取組みの効果、教育ビジョンを教職員が理解し、前向きで意欲あふれる意識改革ができています。

そして、学校、行政、地域、退職教員、塾の講師、大学生など多くの方が、ボランティアをしてつながる仕組みができています。

行政が住民に多くのことを公開して、信頼関係を得ていること。



日ごろの学習成果を発表（旭中学校文化祭）

答

定本町長

本町も、馬路村のような特産品をつくっていききたい。まず、昔から栽培しているピオーネを『美咲ぶどう』として売り出したい。大手商社の協力で、海外への販路拡大の話を進めている。

地域にあった

住宅施策を

問

定住促進は、全町統一したものはなく、各地域に合った策を行うべきでは。住宅整備の計画は。

答

定本町長

定住促進には、まず保育や教育の充実といった基本的な諸条件を整えることが重要である。住宅整備は、国からの補助金制度が廃止の方向で難しい。

馬路村に学べ

問

昨年、個人的に高知県馬路村を視

察した。教育の充実が、定住促進にも、つながっていることなど。今後、土曜日の体験講座などを生かし、学習塾などと共存しながら、学習習慣を醸成することが大切である。

また案内看板などが、センスの良いデザインに統一され、女性客に好評である。

本町のまちづくりを参考にできることが、

質問

老朽化した学校施設の整備方針は

年次計画に沿って

対応を図る

答弁



松田英二 議員

問 町内には小・中の学校が整備されているが、建設後20年以上経過する施設が数多く存在する。

老朽化した施設の整備計画は立てているのか。

答 泉教育長

内々には予定しているが、具体的な実現の申しについては今後検討していく。

問 地方自治体が区域内の学校施設に大規模な改造工事を施

す場合、文部科学省の学校施設環境改善交付金を受けることができない。

事業費の1/3を補助するこの制度を使って、築後20年が経過する旭小学校、加美小学校、柵原東小学校、柵原中学校などの施設整備を消費税が上がる前に実施する考えはないか。

答 泉教育長

まず旭小学校の改修と美咲中央小学校の教室増設を実施する

予定で近く調査に着手する。

他の学校については緊急性を考慮した上で検討していく。

答 定本町長

指摘の学校施設については、平成32年度までの年次的な事業計画を作成して対応を図る。



リニューアルを待ち望む旭小学校

建築行政に
対応する強化が
必要では

問

建築工事に関連する職種は多岐に渡り、あらゆる業種に波及することから景気浮揚の効果が大きいとされている。

町内の建築行政を進めていく上で一級建築士の資格を持った職員を採用し、老朽カ所の調査、基本的な図面の作成などを内部で処理することはできないか。

答 定本町長

現在、役場には一級、二級の建築士が3人いるが、土木業務との兼務であり専門職としての業務はできていない。

土木職員を採用することで少なからず専門的な業務ができる体制を考えていきたい。

問 資格を持つ人は工業高校などを卒業

社会的資産である。

する新卒を採用することで、人財の確保・育成を図ることも行政の重要な仕事ではないのか。

答 定本町長

ここ2、3年の内には建設工事に携わってきた優秀な課長が退職となる予定だ。町全体を支える人材の確保と育成には危機感を持って取り組まなければならない。

問

6月定例会で空き家管理条例が制定された。

町内のあちらこちらに倒壊寸前の建物が見受けられる。こうした施設への法的な手続きも含めた対応を建築士に期待したいが。

答 定本町長

今の条例では報告と公示はできるが行政代執行はできない。必要が生じれば条例改正などの措置を図っていく。

質問

機構改革で小さな

行政を目指せ

効率的な組織体制

づくりを検討中

答



三船勝之 議員

問

合併から7年が経過し、少数精鋭主義を断行すべきだが、行政はコスト感とスピード感がないと言われている。

合併当初からの職員数と人件費の推移はどうなっているのか。

答

難波総務課長

正規職員数とそれに係る人件費の予算の総額は、平成17年度職員数246人で十八億二千九百万円。平成21年度197人で十五億二千四百万円、平成

24年度202人で十五億八千三百万円。

問

縦割り行政の解消のため、総務課と企画財政課を一課に。産業観光課と建設課を一課にするなどの方法もあるが、機構改革の考えは。

答

岡部副町長

機構改革に伴う職員数の管理は、定数削減が目的ではなく、全体の効率化と質の向上を達成するために行う。

業務内容や文書など

についても十分見直し、機能的かつ効率的な組織にするため検討中である。

答

定本町長

合併により事務



機構改革で役場はどう変わるか

問

平成28年度をもって簡易水道から上水道へ移行となる

水道事業管理
体制の方針は

量が増えたが、ある程度の人数、人材が必要。機構改革については副町長に指示している。実現に向けて検討中である。

答

赤堀上下水道環境課長

上水道へ移行後は、水道料金の見直しなどを視野に入れ、上水道として公営企業会計へ移行する方針が決まっている。

水道事業の第三者委

答

定本町長

託については、今後、先進自治体を研究の上、検討したい。

柵原、中央、旭3地域がそれぞれ独立した運営をする第三者委託の考え方もある。

みさきテレビ

運営方法の見直し

が必要では

問

情報交通課で、平成24年度からみさきテレビの運営をオービスに委託したが、多額の委託料でありながら、みさきテレビに変化がない。町民から良くなったという声が聞こえない。

今後の考えは。

答

鈴木情報交通課長

安定的なみさきネットの運営を行うため、オービスへ委託した。

今後は、新しい番組作成にも力を注ぐよう要請する。

質問

成年後見人の
育成を急げ

本町でできることを

研究中

答弁



金谷高子 議員

問

成年後見制度は、認知症の人や知的障がいのある人、また、精神障がいのある人など、自分では判断能力が不十分な人に対して法的に支援する後見人が、本人に代わり、財産の管理や福祉のサービスを受けるための事務処理などを行うものである。認知症の人が、10年前から倍増し、300万人を突破したと推計されている。成年後見制度の利用

の実態は。

答

村島健康増進課長 成年後見を申し立てることができない人について、町長申し立てをする制度がある。平成20年度に1件、平成21年度に2件、本年度は障がいのある人と高齢者の人2件を町長申し立てで申請中。

問

後見人の育成、確保の考えは。

答

村島健康増進課長 岡山県社会福祉協議会が岡山県の委託を受けて、7日間の研修を実施している。単町では、このような研修を企画するのは難しい。

岡山県社会福祉協議会開催の研修を受講し

た後、さらに町の地域状況を伝えるような講義を研究中有である。

問

対象者への制度の周知、支援の考えは。

答

村島健康増進課長 職員と専門の弁護士と検討会を実施し、権利擁護の視点に立った支援を進めている。広報紙などでわかりやすい説明に努める。

空き家対策の
目的は

問

旧中国銀行の跡地に空き家対策室が設置される。活動内容と目的は。

答

遠藤企画財政課長 平成21年度、22年度に318件の空き家の調査をしてから、数年が経っているため、再調査が必要。また、売り主と買い主、賃貸物件の所有者と入居者などの調整を行ってもらう。

定住促進

プロジェクトの
新企画は

新企画は

問

どの市町村も人口減少の歯止めにと、特色のある取り組みをしている。新企画はどのようなものか。

答

岡部副町長 7月に第1回プロジェクトチームの会議をし、現在まで2回開いた。

問

他市町村から美咲町に移住された人々の意見交流会を開催してはどうか。

答

岡部副町長 客観的な視点での意見を聞き、ネットワークを作るチャンスでもあり、前向きに考えていきたい。



人口増に期待される空き家対策室

質問

過去20年間の

農業の動向は

激変した地域農業に

不安

答弁



岡田 壽 議員

基幹産業である

農業への

町単独支援は

問

農業は町の基幹産業と位置付けているが農業離れが進んでいる。国策として6次産業化、企業化がいわれているが、町単独での支援は。

答

定本町長
町では、黄ニラ、

問

町内の荒廃地、不作付地が目立つ。また、畜産、葉タバコなど農業の減少は著しい。この20年間の町内の動向は。人・農地プランで実施したアンケートの結果は。

答

矢木産業観光課長
農林業センサス

2010年と1990年の報告では
▽農家数は58%減少し、1303戸
▽水稲作付農家は50%減の1154戸

▽作付面積は40%減の759ha
▽牛、豚などの畜産農家数は85%減の43戸
▽葉タバコなど、工芸作物は95%減の20戸となっている。

本年度4月実施のアンケートは回収率40%。結果から多くの農業者が高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加に不安を持ち、5年、10年後の展望が思い描けない地域が増えている。

人・農地プランの作成は地域農業の問題をみんなで話し合い、地域の将来を考えるもの。全地域での取り組みを期待している。

問

アスパラ、ピオーネを奨励し、栽培者も増えている。転作作物として注目しているが、労働力、資金面で転換しきれない現状がある。今は、国・県の補助事業に対応できる農業体制を整えることしかできない。

町単独での農業支援には莫大な費用が必要で難しい。中山間直接支払制度、農地水環境制度の活用を奨励していく。



農地の荒廃防止にがんばる農業公社

利用拡大した

農業公社の

充実を図れ

問

頑張っている中核農家への、国・県の資金面での支援は極めて限られている。

全地域に利用を拡大した農業公社だが、農機具の更新など資金面で苦勞が多い。町として対応は。

答

定本町長

条件的に不利な農地も請け負っている農業公社の役割は、非常に重要になってくる。国土保全や景観整備の面も含めて公社は必要である。

今後、農業公社への支援も増えるが、農業を守るために必要な出費と考えている。

質問

新投票所への

時刻表を早期に

告知放送や広報紙で

お知らせする

答弁



梁山朝子 議員

も利用していただきました。今回の利用状況、利用者の声などから、運行の仕方を検討していきたい。

問

9月1日から、投票所が変更となる個所があり、交通手段を持たない人が心配している。旧投票所へ大きな時刻表の掲示があれば、早めに計画を立てられることで安心できるが。

答

難波総務課長 10月には町広報紙に掲載し、告知放送もする予定である。投票日の送迎は旧投票所と新投票所を結ぶものであり、福祉巡回バスなどにより期日前投票

健康教室の

具体的な内容は

問

本年度から開始の健康づくりに関する連した教室およびリーダー養成講座の具体的な内容は。

答

村島健康増進課長 本年度から、コロバン公民館という名称で、打穴西地区、大井和地区、中地区、井和地区、大戸上・定宗地区、飯岡地区の6会場を実施。各会場とも日常生活



楽しく元気にコロバン体操

に関する調査で、介護予防が必要と思われる人にコロバン体操の指導員を加えた25人前後で実施する。目的は、運動機能と口腔機能の向上。半年間の1クール終了後は、参加者が地域のサロンなどで継続実施していく考え。今後3年間で、町内に広げる計画を進めている。

愛育委員会、栄養委

問

柵原星の里スポーツクラブの看板

柵原星の里

スポーツの

看板取り付けを

委員会の組織育成、介護予防においてコロバン体操の指導員の養成に力を入れていく。健康づくりのリーダーとしては、これまでの活動にプラスしながら展開し、健康増進を進めていきたい。

答

中西柵原総合支所長 スポーツのほかに文化協会などの各種団体は、文化センター別館に移転した。各種団体と共用の看板を設置するなどの協議をしていきたい。

問

火葬場のトイレにジェットタオルを設置できないか。

答

定本町長 他施設の状況を見て判断したい。

火葬場に
ジェットタオルを

質問
主体的・自立的な
財政運営を

財政指標はかなり
良くなっている
答弁



小島洋征 議員

問 合併以来、借金
の返済も進み財政
指標もある程度良くな
ってはいるが、これか
らの財政運営は更に厳
しくなってくると考え
られる。

答 国が定める財政指標
ではなく、自立的な指
標を持って財政運営に
あたるべきでは。

答 遠藤企画財政課長
借金返済が進ん
でいるので、公債比率
は心配していない。経
常収支比率は80%以下
となるよう努力する。

問 合併以来の赤字
予算をどう考える
か。

答 遠藤企画財政課長
基金を使い切る
ことはできない。決算
で赤字にならない支出
を考える。

問 固定経費削減の
ため、職員定数・
人件費についてどう考
えるか。

答 遠藤企画財政課長
本年8月に平成
29年度までの財政運営
適正化計画を作成し
た。この中に人件費、
職員定数についての考
え方を示している。基
本は退職者の1/2を
補充する。

問 国の政策に翻弄
される町であって
はならない。主体的、
自立的な財政運営が必
要では。

答 定本町長
国の経済対策に
よる交付金事業による
効果もあり、財政指標
はかなり良くなつてき

た。
平成29年には、実質
公債費率は15・1%、
将来負担比率47・6%
と予測しており、消費
税アップによる効果も
期待している。

問 行政組織の効率
化と活性化のため
に、部制・一部本庁方
式を取り入れてはどうか。

答 定本町長
保健福祉課と健
康増進課は業務が重な
る部分が多く統廃合を
考えているが、執務ス
ペースの点で苦慮して
いる。

問 合併協議の約束であ
る総合支所方式の採用
は、部分的にでも崩し
てはいけなないと考えて
いる。

問 美咲町振興計画
に、行政組織のス
リム化、効率化のため
の工程表を盛り込むべ

組織の効率化に
機構改革を



教育委員会の職責が問われる時代だが…
(例月の教育委員会風景)

きである。

答 定本町長
現在は、まだ赤
字ではない。赤字が続
く状況になれば検討す
るが、当面は支出を抑
え対応する。

問 不要論も含めた
教育委員会のあり
方についてどう考える
か。

答 泉教育長
教育委員会制度
については、町村では
事務局機能が十分では
ないが、人権尊重を第
一に、可能な限り情報
公開をしながら、問題
解決に努める。

答 本年度からは、指導
主事を配置するととも
に、教育委員会の会議
において、今日の事
態を重く受け止め、議
論を深めていく。

教育委員会の
あり方は

どうなった?? あの質問

一般質問 追跡調査

議員から町執行部への一般質問で何が変わったのか。
22年度の質問からの追跡調査を報告します。

質問 ワクチン助成の充実

子どもたちの健康と命を守るために「子宮頸がん予防ワクチン」および「髄膜炎予防のヒブワクチン」へのワクチン助成の充実を望む。

答弁

各種ワクチンへの助成は、供給状況と国・県の動向を見ながら検討していく。

その後

平成22年10月から、子宮頸がん予防ワクチン（中学生が対象）・ヒブワクチン（5歳までが対象）接種事業を町費により開始した。
現在は全額公費負担（町と県で約1/2ずつ）となっている。
また、平成23年1月からは小児用肺炎球菌ワクチン予防接種も開始している。



質問 空き家管理条例の制定

老朽化した空き家を放置することで倒壊の危険、火災・犯罪の恐れがある空き家を適正に管理するための条例が作れないか。

答弁

埼玉県所沢市で空き家適正管理条例が制定されているが、現段階では空き家の適正な管理を所有する人に要請するのが行政の限界である。

その後

平成24年6月定例議会において「空き家等の適正管理に関する条例」が制定された。

質問 廃品回収報奨金制度の創設

ゴミの減量化・再資源化を進めるためには住民が自ら行動する必要がある。
町内で行われている廃品回収に報奨金制度は作れないか。



答弁

分別すればゴミも重要な資源となる廃品回収に対する報奨金制度は十分検討する。

その後

平成23年4月から、古紙・空き缶などの資源ゴミの廃品回収を実施した団体に1kgにつき5円の報奨金を交付している。

議員定数・報酬等特別委員会報告

定数・報酬共に
現状を維持

美咲町議会基本条例第15条および第16条の定めるところにより「議員定数・報酬等特別委員会」の設置を平成24年6月定例議会において議決した。

全議員16人で組織した特別委員会において、行財政改革の視点、町政の現状と課題、二元代表制の役割、地域の声などの観点からさまざまな意見を聴取し、活発な議論を尽くした結果、議員定数・議員報酬共に現状を維持するという結論に達しました。

各議員の意見集約を次のとおり報告します。

	定数	報酬	意見要約
金谷議員	現状維持	現状維持	地域の声を聞く為には現状の16人程度は必要と思う。町の面積が広すぎることも理由の一つ。
松田議員	現状維持	現状維持	報酬を月額30万円程度に引き上げれるのであれば定数は14人だが、現状において報酬増額は不可能。よって現状維持が望ましい。
江原議員	14人	月30万円に増額	若い人が立候補するためには、報酬増は必要。
林田議員	14人	現状維持	地域の声として定数減が非常に多い。 町内の人口増減も参考とする。 報酬は、将来的には財政状況を鑑みるのが適当。
岩野議員	12人	月28万円に増額	定数は、和気町なみに減らす努力をすべき。 報酬は、生活給とするか悩むところで議論したい。
染山議員	現状維持	現状維持	次期改選後も議会報告会が実施されると思うのでその都度、検証の機会を作って決めていってほしい。
角南議員	現状維持	現状維持	年間200人の人口が減少し、合併特例も無くなるが選挙半年前であり、次の議員で検討してほしい。
山本議員	現状維持	月5000円の減額	報酬は、県内の状況も考慮して減額が望ましい。
小島議員	現状維持	月26万円に増額	定数減にした時の弊害の方が心配。
草苅議員	現状維持	現状維持	合併時には40人いた議員を16人にした。 非常に良く調整ができていた。
松島議員	現状維持	現状維持	議会活性化のためにも定数は慎重に考えるべき。 あらゆる世代が立候補するためにも将来は報酬増額が望ましい。 議員活動を活発にするために政務調査費は必要。
日神山議員	現状維持	現状維持	基本的には若い人に門戸を開くため定数減・報酬増希望だが、改選半年前に改める事は控えたい。 地域主体の活動ではなく、町全体を考えるシステムを考えるべき。
岡田議員	現状維持	現状維持	人口1,000人に一人との決め方が分かり易い。 ただし、12人以下は広い町内では難しい。
下山議員	現状維持	現状維持	現状維持が望ましいが、4年後の改選期には定数14人にしなければならない。
貝阿彌議員	現状維持	現状維持	人口・面積などを考慮し、人口1,000人に一人として16人で良い。 現状の報酬は県下では高い方だが、委員会手当て、政務調査費が無いため現状で良いと感じている。
三船議員	現状維持	現状維持	二元代表制の中では適当な定数である。 委員会手当てを増設するのが現時点では適当か。

議会費あれこれ

平成23年度の議会管理費支出額は一億二千五百二十五万三千七百円で、一般会計に対する割合は1・04%となりました。主な項目は表のとおり。

【議会費】

項目	金額
議員人件費	6,156万4,812円
一般職員人件費	1,234万4,170円
経常管理費	458万2,334円 (議長交際費17万2,000円含む)
各種負担金(退職議員の年金など)	4,675万8,821円
合計	1億2,525万 137円

【議会活動日数】

各議員が一年間に公務で活動した日数をまとめてみました。

議長	283日(町外・県外・国外を含む)
副議長	154日(町外・県外を含む)
議員(14名)	平均124日(町外・県外・国外を含む)

各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることになります。

【議員報酬】

議員が受け取る月額報酬は次のようになっています。

議長	副議長	常任委員長	議員
31万5,000円	26万2,000円	24万6,000円	24万円

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45ヵ月分と12月に1.65ヵ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

※各組合議会開催時(年間平均2回)には日額6,000円程度を支給しています。

◆他の市町村が支給している政務調査費・委員会手当などは支給していません。

【議員年金は廃止】

国会議員の年金制度廃止に伴い、平成23年6月1日より「地方議員年金制度」も廃止されました。(ただし、受給資格者は年金受給か一時金受給かを選択することができます。)

【退職金】

従来から議員には「退職金」はありません。

議会に ひとつひとつ

答 まず一地域の実情を把握した上で、町内全域の状況改善を図っていきます。

【議会への注文】

答 積極的に取り組めます。

答 行政専門用語には説明を入れてほしい。

答 難しい表現には極力説明文を書きます。

【議員への注文】

答 地域で最重要と思われる事案が地区議員によって議題に挙げられない。

答 それぞれの地域の役員会などでお話しをいただければ必ず議題に挙げていきます。

答 議員は地元の発言ばかりでなく町全体の公のことを考えるべきだ。

答 議会の政策に期待する。

答 子ども、高齢者に温かい目を向けてほしい。

答 高齢者のひきこもり予防対策に力を入れてほしい。

答 高齢者の健康維持に力をいれてほしい。

答 教育と福祉は政治の原点です。しっかりと取り組みます。旭地域に分譲地はできないか。

答 定住促進策についても強く要請していただきます。

答 議会の視察が観光気分では困る。参加した人は必ず報告すること。



いつまでも元気だね（静香園とかめっこ保育園の交流）

答 特別委員会で議論した結果、議員定数は、現状を維持します。（24ページを参照）

答 議員の視察・研修は2年に一回で良いのでは。

答 研修したことを町政にどう生かせるかを基本にします。

答 自治体は透明性が高く、情報公開は徹底されているのか。

答 情報公開制度は制定されていますが、まだ課題はあると思います。

答 一般質問の内容は、美咲町活性化の建設的な意見を望む。

答 美咲町発展に向けた議題に取り組む、論戦を挑んでいきます。

答 議員活動の「見える化」の推進、議員評価制度の導入はできないか。

答 先進地の活動を調査していきます。

【議会だより改善点】

答 重要政策を重点的にわかりやすく。

答 政策についてわかりやすい文章を心がけていきます。

答 住民参加の記事を充実させてほしい。

【議会改革に期待】

答 議会報告会は今後も継続すべき。

答 毎年内容を充実していきます。

答 議員定数減はやむを得ないのでは。少数を。

答 新企画として検討させていただきます。

答 各議員から報告された内容をまとめてその都度議会だりに掲載しています。

答 一般質問追跡調査は興味ある内容だった。議会視察の追跡調査も実施するべき。

答 新企画として検討させていただきます。

答 各議員から報告された内容をまとめてその都度議会だりに掲載しています。

答 一般質問追跡調査は興味ある内容だった。議会視察の追跡調査も実施するべき。

答 新企画として検討させていただきます。

答 各議員から報告された内容をまとめてその都度議会だりに掲載しています。

答 一般質問追跡調査は興味ある内容だった。議会視察の追跡調査も実施するべき。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

岡山県中部環境 施設組合

(真庭市、美咲町)
10月1日、臨時会を開催し、24年度一般会計補正予算千五百二十九万円を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)
10月12日、定例会を開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算五百九万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域 衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)
10月18日、定例会を開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算千八百九十八万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域 西部衛生施設組合

(津山市、鏡野、美咲町)
10月23日、定例会を開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算千三百五十七万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井英田 火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
10月29日、定例会を開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算百四十八万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護 老人ホーム組合 (吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)
10月29日、定例会を開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算二千八百九十九万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

福岡県

小竹町議会から

議員4人が
視察で来町

10月11日に福岡県小竹町から町議会広報編集委員4議員が来町された。

資料をもとにそれぞれの広報編集方法の説明を行い、2時間にはわたって熱心な質疑応答が行われ、議会だよりが持つ重要性の認識を新たに、双方の発展を期して終了した。



熱心に質疑する議会広報メンバー

全国町村議会広報研修会

7月30日～7月31日に全国町村議会広報研修会が東京都の砂防会館で開催された。

この研修会は、全国町村議会議長会が主催して毎年開催されている議会だよりの編集講習会であり、今年も北海道から沖縄県までの145町村から約620人の議会関係者が参加した。

研修会だよりを作成する上で基本となる3つの方針

○原稿を書く時はできるだけ簡潔に

○ページのレイアウトは読みやすさを最重要視

○写真を撮る時はテーマを決める

などについての講義を受けて、現在の編集委員会に足りない部分を見つめ直す良い機会となった。



全国から620人が集まった議会広報勉強会



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第15回
日本の伝統を支える



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループとご連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

現在の組織は、平成17年からです。

どんな活動をしていますか

日本刀の仕上げに使うマツ炭とヒノキ炭を備前長船の刀匠会に納めています。

メンバー構成は

60歳～80歳代の10人でがんばっています。

活動を始めたきっかけ

大山地区（江与味）は、林業がさかんで、昔から行っていた炭焼きを後世に伝えたいからです。

楽しいことは何ですか

炭ができてあがるのに約3週間かかります。できた時の達成感は、何とも言えません。
また、メンバーで食事会に行くのも楽しみです。

これからの活動は

備前市の子どもたちが、野外学習でたびたび来てくれます。地域の若い世代にも取り組みを継承していきたいです。
炭焼き体験会も募集しています。

議会に一言

子どもたちの炭焼き体験、森林の間伐体験事業を広めていきたいので、ご支援をお願いします。

皆さんの心と技を後世に伝承して下さい

編集後記

このほどiPS細胞（人工多能性幹細胞）を開発した京都大学の「山中伸弥教授」がノーベル医学・生理学賞を受賞されました。これが実用化されれば、難病に苦しむ人々を救うための再生医療の実現や新薬開発など幅広い分野への応用が見込まれ、文字通り日本再生の切り札としても大きな期待が寄せられています。

映画「三丁目の夕日」に描かれていた時代には夢物語とされていたロボット、クローン技術、再生医療などが実現していく夢のある未来を子どもたちに語りたと思います。

（松田記）

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

岩野 正則

金谷 高子

草苺 良明

松島 啓